令和５年度

立江小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

〇基礎基本の定着とそれを活用する力の育成

〇学びを生活につなぎ，主体的に学習に向かう児童の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
古田玲子（教諭）	校長：高原俊英　教頭：瀬野俊恵 教務主任：森本千寿子　研修主任：横山利恵

校長　高原　俊英

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等，様々な機会を捉え，取組状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み，学力の向上を推進

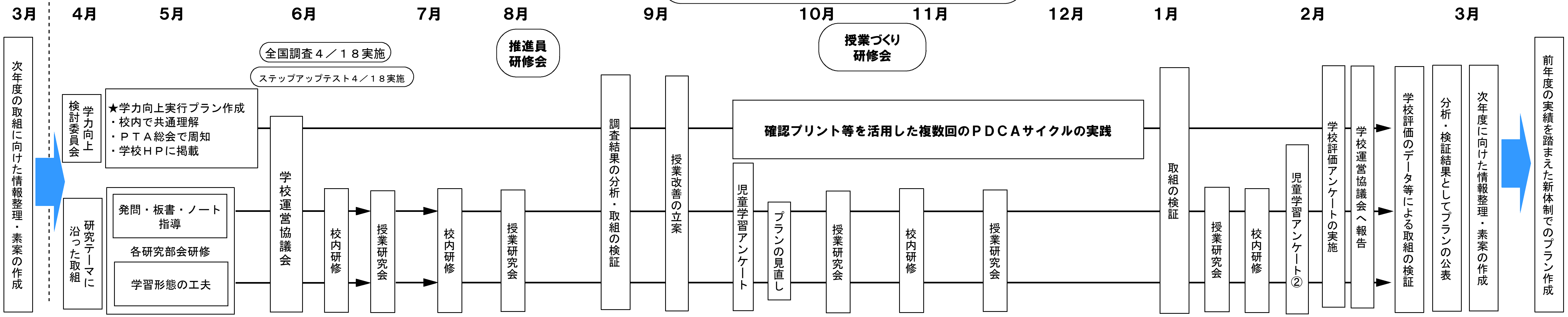
（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇基礎的・基本的な知識技能は，定着している。 ●「書くこと」の基本的な力が十分ではない。	・単元テストや漢字テストでクラス平均８５点以上取ることができる。 ・「読解力」や「書く」問題に慣れ，問題の意図をつかむことができる。	・再テストなどを行うことによって，自分が間違えた問題を意識することができるようにする。 ・スキルアップタイムなどで，「要約」「長文読解」など一つの学習課題を繰り返し連続して行うことにより，問題に「慣れる」「解ける」「楽しむ」と段階を踏んでいけるように工夫する。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇自分の考えや思いを表現できる児童が増えてきた。 ●週に１時間以上読書をしている子が４６％で，全体的に読書時間が少ない。	・自分の気持ちや考えを伝え合う楽しさを実感する。 ・週に１時間以上読書をする。	・２人組・グループなど少人数から伝え合う場面を授業に取り入れる。 ・毎週土日の宿題に読書をしたり，学年だよりで，クラスの読書状況や読書のよさを伝えたりする。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇与えられた課題に真面目に取り組み，できるまで努力することができる。 ●自分から課題を見つけ，よりよくしようとする能動性・主体性に欠ける。	・自主勉ノートを仕上げていく過程を通して，学ぶ楽しさを実感する。 ・生活面・学習面で，主体的に活動することができる。	・工夫している自主勉ノートを展示することにより，よい自主勉ノートの書き方や内容を知ることができるようにする。 ・縦割り班の活動や係活動で，子ども達からの意見を取り入れ，主体的に活動できる場をつくる。			

令和５年度　学力向上ロードマップ